

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	白川町	代表者名	佐伯正貴		
担当者部署	企画課企画係	連絡先電話番号	0574-72-1311		
担当者役職	主査	担当者氏名	鈴木元秀	連絡先E-mail	*****
住所	509-1192 岐阜県白川町河岐715番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	3回目の支援をいただきました。前回支援の結果から幹部職員と一般職員向けにそれぞれ違う内容の講義をいただき、幹部職員に向けては、自治体業務の効率化と標準化に向けたマインドセットにより職員からは「目から鱗だった。デジタル化について正しい知識を得た。」など感想をいただき、全庁的な取り組みに向けて支援体制の構築に資することができた。一般職に向けては、Web上で感想や質問を随時受け付けながら、内容を表示し回答する方法を取り入れた講義により、理解を深めることができた。
アドバイザーへの要望事項	3回目の支援よろしくお願ひいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月22日	支援・助言(実地)	有	令和5年7月24日	798
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月1日	支援・助言(実地)	9時00分	15時00分	60
				活動時間（分）	300
3-2. 派遣場所	会場名	白川町役場	最寄駅	JR高山線 白川口	
	所在地	岐阜県加茂郡白川町河岐715番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	幹部職員、一般職員	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	地域情報化アドバイザーの助言をいただき策定した美濃白川DX戦略において、自治体業務のデジタル化のための推進体制を構築するにあたり、幹部職員と一般職対象に組みの意義や目標を設定するための意識醸成が必要であった。これまでは、実行部隊を中心に研修を実施してきたが、デジタル化を加速するため町長を含めた幹部職員への取り組みの理解と協力を得ることとした。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	自治体業務のデジタル化、効率化のために庁内推進体制を速やかに構築する必要があり、それに向けた意識醸成と具体的な実行計画の策定が必要。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	9:00~12:00 幹部職員（12名）に向けた研修を行った。事前に提供いただいた資料により、わかりやすく経営層や管理職員に対してDX推進の意義を解いていただいた。特に事務決裁の電子化のメリットなど具体的な事例を踏まえながら、行政職を経験したアドバイザーの特徴を活かした内容となった。 13:00~15:00 一般職員（23名）に向けたDX研修会を実施した。Slidoの質問受付ツールを用いながら、リアルタイムで質問を表示させて職員の興味と理解を得る工夫がされていた。質問では、具体的なノーコードツールやファイルサーバーの構造例を事例に上げ職員の理解度向上につながった。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自治体業務の効率化・デジタル化に向けた職員の理解度向上と意識醸成が出来た。 職員への研修や講義は、定期的に行っていく必要があり、ステージ0と位置付けられるように職員の特に経営層や管理職員の理解が無いと進まないことがあらためて知らされる機会となった。今回幸いなことに、地域情報化アドバイザーの支援により、幹部職員の理解が進み自治体業務の効率化やデジタル化に取り組む下地ができたと思われる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	自治体業務の効率化・デジタル化に向けた推進体制の構築を進めているが、行革や例規、行政システム、ICT担当など連携の必要なプロジェクトであるため、専属の組織体制が必要である認識となる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員への助言・支援であったので、定量的なアンケートを実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	地域DXについては、各組織の自主性を尊重し地域活性化に向けて必要な支援を行っていく。 庁舎内DXについては、オフィス環境や業務の効率化をデジタルの力を借りながら実現していく。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

